



家庭の守り手

私達の家庭をつつむむ光を守る



知識を分かち合う(二コリ1:1)

互いに愛し合い奉仕する

キリストについて証する
(二コリ25:26)

神とまた互いに忠実である

模範となる(アルマ 56:46-48)

共に祈る

養い育てる人となる

共に働く

良い習慣を身につける

悔い改めと赦し

一緒に遊ぶ

聖約を結び守る

神から与えられた素質と運命について教える

自立の奥義にもとって生活する

純潔である

私はあなたがたに、あなたがたの子供たちを光と真理の中で育てるようにと命じた。
教義と聖約 93:40

暖かさを与え、家の中を光り照らし、また料理するために使われていた暖炉とその炉火は、かつては家事と社交生活の中心の場所とされていました。そしてより多くの人々がその暖炉の温かみを感じられるように、と家の真ん中に配置されていました。もしイエスキリストが私達の家庭の中心であったならば…その光は私達の家庭に明るさと温かみを与え、私達を養い育ててくれるでしょう。私達女性はその光の守り手であり世話人であるのです。このちょうちんは私達女性を象徴しており、そこには私達がキリストの奥義に従い主の助けに頼ることにより私達にできること、家庭の光の守るためにできることの例が書いてあります。

紙ちょうちんの作り方:点線にそってはさみで切る。「家庭の守り手」と書いてある部分と聖文が書いてある部分が背中合わせになるよう山折りする。折り目から点線にそってはさみで切る。紙を開き、筒状になるように丸め、テープで止める。小さなキャンドルを中に立てる。